



《松竹梅文様筒描油単》四国村所蔵資料

吉岡幸雄 ディレクション展

J A P A N B L U E の 世 界

平成28年 10月8日(土)～11月27日(日)〈会期中無休〉

開館時間 | 9:00-17:00 (入館は16:30まで)

観 覧 料 | 一般 1,200円 / 高校生 700円 / 小中学生 500円

協 力 | 染司よしおか 後 援 | 高松市

助 成 | 公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団

主 催 | 公益財団法人四国民家博物館 協 賛 | カトーレック株式会社

公益財団法人 四国民家博物館 + Shikokumura gallery





《藍屏風》写真提供：染司よしおか 撮影：斉藤芳弘



《茶道具文様筒描布団地》
四国村所蔵資料



《鶴亀松竹梅文様湯上げ》
吉岡幸雄氏所蔵資料

吉岡幸雄ディレクション展

JAPAN BLUEの世界

藍より青く……。地球の上の流れゆく大海原、大河、豊かに水をたたえていずれも青く、草樹は風に揺れて、青緑の縹緲をなす。人は皆、青と緑に囲まれて毎日を暮らしている。それ故に藍より生まれる青を身近におきたいと思うのは当然のことである。日本に木綿が本格的に栽培されるようになったのは、江戸時代になってからである。瀬戸内の温暖な地で木綿が栽培され、それには藍染がふさわしかった。四国の大地に建立されてきた家々にも、藍染の美しい布がよく似合う。そう考えて、江戸から明治にかけての藍より出た青を並べて、それを認識しようとした。はからずも東の隣県、阿波徳島は「藍」の大生産地、西の伊予は緋、土佐は舟の幟、そして香川の海辺の木綿、いずれも藍と親しい木綿の普及とともにきたところがある。このたびは、この四国の民家村の家と美術館に藍の彩りを大きく広げてみようとした。明治にやってきた外国人が驚嘆したジャパンプルーの美が広大な四国村で花開きます。皆様の御来場をお待ちしております。

吉岡幸雄

ディレクタープロフィール

染色史家 吉岡幸雄(よしおか さちお)

昭和21年、京都市生まれ。生家は江戸期からの染屋。昭和46年に早稲田大学第一文学部卒。美術図書出版社「紫紅社」設立。昭和63年、生家「染司よしおか」五代目となる。染師福田伝士とともに日本の伝統色の再現に取りくむ。奈良・京都の古社寺の行事に染織関連で参画する。平成22年、菊池寛賞受賞、同24年NHK放送文化賞受賞。主な著書は『日本の色辞典』『源氏物語』の色辞典』『王朝のかさね色辞典』(以上紫紅社刊)、『日本の色を染める』(岩波書店)『千年の色』(PHP研究所)など多数。



関連イベント

吉岡幸雄氏(染色史家)によるギャラリートーク

日時 | 平成28年11月6日(日) ①10:00 ②14:00(各回60分)

受付場所 | 四国村料金所(開始30分前から受付開始)

会場 | 四国村ギャラリー

料金 | 1,000円(別途、企画展観覧料が必要です)

定員 | 各回20名(事前予約制)

【申込方法】はがきに必要事項をご記入の上、下記住所までお送りください

〒761-0112 香川県高松市屋島中町91

四国村イベント申込担当 まで

【締め切り】10月10日(月・祝) ※当日消印有効

【必要事項】(1)時間選択 ①10:00 ②14:00

(2)お名前(フリガナ) (3)住所 〒

(4)電話番号 (5)送迎車の希望 有・無

応募者多数の場合は、抽選にて決定いたします。

当選者は10月25日(火)までに郵送にて詳細をご連絡いたします。

イベント特典

①料金所から四国村ギャラリーまで送迎車付き!

(開始30分前に四国村料金所にお越しください)

②企画展特製・お土産付き!

③当日「紫紅社」刊行物をご購入の方には吉岡先生からサイン贈呈!

アクセス

飛行機で

高松空港から高松空港リムジンバス乗車、「瓦町」下車、タクシーで約20分

お車で

JR高松駅より約20分/高松空港より約40分/高松自動車道高松中央ICより約15分/志度ICより約20分/鳴門ICより約50分

最寄駅

琴電「ことでん屋島駅」下車 徒歩5分/JR「屋島駅」下車 徒歩10分



無料駐車場

大型バス5台
普通乗用車200台



歩きやすい靴で
ご来場ください

公益財団法人 四国民家博物館「四国村」

〒761-0112 香川県高松市屋島中町91

Tel. 087-843-3111 Fax. 087-844-1831